

編集後記

『一橋大学スポーツ研究』第37巻を発行する。

テーマは、「スポーツの『過去』と『現在』を読み解く」とした。今年は、「グローバル化する社会におけるスポーツと多様性に関する研究」(科研)をテーマとした共同研究の最終年度となった。スポーツ研究を志す院生も含め、研究会や合宿、また所収したようにゲストを招いての講演会の開催など、テーマと同様に多様な人材、多様な視角からスポーツ研究に取り組む環境にある。今回も院生の投稿を掲載することができた。昨今の人文社会系研究をとりまく状況を顧みれば、大変恵まれた環境であり、2019年ラグビーワールドカップ日本開催、2020年東京オリンピック・パラリンピック大会と続く、スポーツのビッグイベントを乗り切り、その後続くスポーツ研究の有り様を見据える、重要な責務があると感じる。スポーツは、ビッグイベントだけでもオリンピック・パラリンピックだけでもない。そしてスポーツについてだけ考えていけば、よい研究ができるわけでもない。これからますます報道が過熱するであろうスポーツ環境にあって、多角的、多層的に課題を捉えつつ、今後も研究成果を積み上げていくことが必要であると考えている。

本年報は、科学研究費助成事業基盤研究(C)「グローバル化する社会におけるスポーツと多様性に関する研究」(研究代表者：尾崎正峰、課題番号16K01697)の研究成果の一部である。

(坂 なつこ)

一橋大学 スポーツ 研究 Vol. 37

スポーツの「過去」と「現在」を読み解く

2018年12月27日 発行

編集・発行 一橋大学スポーツ科学研究室

〒186-8601 東京都国立市中2-1

TEL 042-580-8270

<http://www.soc.hit-u.ac.jp/~sport/>
